

群馬県議会だより

第88号

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131 (政策広報課)

題字は群馬県立吉井高等学校2年生 書道部 よした 彩乃さんの書道作品です。

第1回定例会開催

7,650億7,700万円の当初予算案などを可決



八王子山公園(太田市)

4月上旬から5月上旬にかけて30万株の芝桜やポピー、ネモフィラが見ごろを迎えます。

令和3年第1回定例会のあらまし

◇令和3年第1回定例会は、2月17日から3月19日までの31日間にわたって開催されました。

【議案】

2月17日には、知事から、「新型コロナ封じ込め加速予算」、「新たな未来構築予算」と銘打った**総額7,650億7,700万円の令和3年度一般会計当初予算案**をはじめ、群馬県多文化共生・共創推進条例や新・群馬県総合計画(基本計画)の策定に係る議案など、**計104議案**が提出されました。

また、2月22日には、営業時間短縮要請の延長に係る一般会計補正予算案**1議案**が、3月19日には、県民向け宿泊割引キャンペーンの実施に係る一般会計補正予算案など**4議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、悪質商法による消費者被害をなくすための意見書案や犯罪被害者支援の充実を求める意見書案**2件**、委員会記録の署名・押印の廃止などの条例案**2件**、育児や産前産後期間を議員の欠席事由に追加する規則案の**計5議案**が発議されました。

【質疑及び一般質問】

17人の議員による質疑及び一般質問のほか、営業時間短縮要請や県民向け宿泊割引キャンペーンに係る補正予算案について**8人**の議員が質疑を行いました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

また、3つの特別委員会で所管事項に係る提言をまとめました。

【議決】

常任委員会・特別委員会の審査結果などについて、各委員長から報告が行われ、議案及び請願について討論と採決が行われました。

知事から提出された**109議案**は、全て**可決・承認・同意**されました。また、委員会から発議された**5議案**は、いずれも可決されました。

◇可決された主な議案

- 令和3年度一般会計予算
- 令和3年度一般会計補正予算
県民向け宿泊割引キャンペーン「愛郷ぐんまプロジェクト第2弾」を実施しようとするもの
- 群馬県多文化共生・共創推進条例
多文化共生・共創社会の形成の推進に関する事項を定めようとするもの
- 群馬県犯罪被害者等支援条例
犯罪被害者等の支援の基本理念を定め、県の責務及び県民等の役割を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めようとするもの
- 群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守る条例
虐待から子どもの生命を守ること及び子どもの権利を擁護することに関する事項を定めようとするもの
- 群馬県議会委員会条例の一部を改正する条例(議会運営委員会発議)
委員会記録の署名・押印を廃止しようとするもの
- 群馬県議会会議規則の一部を改正する規則(議会運営委員会発議)
欠席事由に育児や産前産後期間を追加しようとするもの

◇可決された意見書

- 悪質商法による消費者被害をなくすために、預託法の改正及び執行強化、並びに特定商取引法の改正、同法指針の改正及び執行強化を求める意見書
- 犯罪被害者支援の充実を求める意見書

質疑及び一般質問

令和3年2月24日、25日、3月1日、2日に開催された
質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の
映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

2月24日(水)



◎新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策について

自由民主党 金井 康夫

Q 県内観光業を支えるため、昨年実施した県民向け「愛郷ぐんまプロジェクト 泊まって！応援キャンペーン」を再度実施することについて、知事の考えを伺います。

A 前回実施した愛郷ぐんまプロジェクトでは、県民に「マイクロツーリズム」が浸透し、宿泊者数でも極めて大きな成果を上げることができました。再度の実施については、今後の感染状況をよく見極める必要がありますが、苦境にある観光関連産業を支援するため、幅広い分野や業種に効果が及ぶような形で実施できるよう検討してまいります。



◎群馬県民会館のあり方見直しについて

自由民主党 安孫子 哲

Q 県民会館は、存続を求める2万筆を超える署名が提出されていますが、最終報告の公表に向けた進捗状況と最終報告の検討状況について伺います。

A 県民会館は、現状は、全県的な文化施設というよりも、前橋市域の文化会館としての位置付けが大きいと考えています。現在、プロジェクトチームで、県と前橋市の連携により施設の機能を維持することは可能か、協議を進めています。県民会館の方向性については、議会の決議も踏まえ、年度内の最終報告での決定にこだわらず、時間をかけて、丁寧に検討してまいります。



県民会館



◎コロナ禍における予算等について

リベラル群馬 後藤 克己

Q イベント・プロモーションをはじめ、さまざまな事業の見直しを行っている中で、知事肝いりの施策についても例外扱いたくないと考えます。特に、ぐんまちゃんブランド化の全国プロモーションなど、コロナ禍にあっては慎重に執行すべきだと考えますがいかがでしょうか。

A 財政改革に取り組む中においても、歳出を削るだけでなく、新たな富や価値を創り出す部分にも力を入れていきたいと考えています。ぐんまちゃんのプロモーションは、必ずしも人を集める方法だけを考えているわけではありませんが、注意しながら進めていきたいと考えています。



◎アーティストックGUNMAについて

令明 井田 泰彦

Q 桐生市出身の画家である山口晃氏の作品を購入することですが、その活用について伺います。

A 山口晃氏は、東京2020公式アートポスターの作品などで知られる現代アートの第一人者です。山口氏の作品購入は初めてであり、館林美術館を中心に展示し、多くの方に御覧いただきたいと考えています。ま

た、「アーティストックGUNMA」のアート教育においても活用を考えています。アートの持つ多面的な力を生かした事業を市町村とも連携しながら展開することで、地域に活力を生み出してまいります。



◎県立専門高校における産業教育設備の更新について

公明党 福重 隆浩

Q 国の第3次補正予算を受けて、今後の県立専門高校における産業教育設備の更新に向けた対応について伺います。

A 卒業後も活用できる確かな技術・技能を身に付けた人材の育成は重要と認識しています。CNC旋盤など従来導入の難しかった高額設備の充実を図るため、国庫補助を活用して2月補正予算案に6億円を、併せて測量機器など国庫補助の対象にならない設備の整備については、当初予算案に県単独事業として1億円を計上しました。今後も産業教育設備の充実に継続して取り組み、さまざまな産業分野において本県の未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。



CNC旋盤

2月25日(木)



◎県民幸福度について

自由民主党 川野辺 達也

Q コロナ禍によって県民の幸福感にもさまざまな影響があると思います。また、コロナ禍が収束した後も、幸福感には新たな変化が生じるとは思います。幸福度向上に向け、どのように対応するか伺います。

A 県民の社会経済活動が制限されている中、県民の幸福感にも大きな影響が生じていると思っています。しかし、withコロナやニューノーマルへの転換は、ライフスタイルを見直す契機にもなります。こうした変化を見定めながら、県民幸福度向上のため、県民の安全・安心と暮らしを守るとともに、群馬を元気にする取組を進めてまいります。また、幸福と教育には大きな関わりがあると感じていますので、教育イノベーションを推進することで、幸福度向上につなげていきたいと考えています。



◎側わん症(※)の家庭への周知と検診機器の導入について

令明 金子 渡

Q 家庭に側わん症の確認を促すための周知が重要であると考えます。また、側わん症を見落とさないよう、学校の健康診断に検診機器を導入すべきと考えますがいかがでしょうか。

A 側わん症の早期発見には、日頃の観察が重要で、各家庭の協力が不可欠であることから、健康診断をはじめとするさまざまな機会での周知を通じて、家庭でのフォローアップが行われるよう努めてまいります。なお、検診機器の導入については、機器が高額であることや検診の実施方法を見直す必要があることから、関係機関等の意見も聞いて検討していく必要があると考えています。



◎こんにやくの販売・消費拡大について

自由民主党 牛木 義

Q こんにやくの販売や消費拡大のためには、こんにやくの魅力を発信し需要喚起を図る必要がありますが、今後の取組について伺います。

A こんにやくは、低カロリーで食物繊維が多く含まれるため、ダイエット用食材として消費者に認知されてきていますが、ここ数年では、こんにやくにも含まれるセラミドに肌の保湿効果が認められるなど、新たな健康機能性が注目されています。健康機能性や魅力的な商品の情報を動画ポータルサイト「tsulunus」(ツルノス) 動画等で広く周知することなどにより、こんにやくの消費拡大につなげたいと考えています。



◎PCR検査の抜本的強化について

日本共産党 酒井 宏明

Q 感染症多発地域への網羅的なPCR検査や高齢者施設等への社会的検査を実施すべきと考えますがいかがでしょうか。

A 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染経路不明の感染者が多数発生していたり、クラスターが複数発生しているなど、流行が拡大している地域の高齢者施設等においては、集団感染を防ぐよう、無症状者であっても積極的なPCR検査等を実施する考えです。網羅的なPCR検査については、流行状況に応じた対象者や検査頻度の設定、費用対効果などの課題もあることから、他県の例を踏まえて検討してまいります。

3月1日(月)



◎信号機のない横断歩道における歩行者優先を徹底する取組について

自由民主党 今泉 健司

Q 歩行者が被害者となる交通死亡事故の状況と、信号機のない横断歩道における歩行者優先を徹底させる取組について伺います。

A 歩行者が被害者となる交通死亡事故は、過去5年間で97件発生しています。県警察では、昨年からは、信号機のない横断歩道における歩行者優先を徹底させるため、横断歩道における車両の停止実態を調査した上で交通指導取締りを強化する特別対策も実施し、一定の効果を上げています。この取組を継続して実施し、歩行者が関わる交通事故を防止してまいります。



◎男性県職員の育児参画について

裕心会 大林 裕子

Q 女性の活躍を進めるには、男性の働き方の見直しや育児休業取得等、男性への働きかけも重要であると思います。一般企業に先んじて、県職員が率先して取り組んでいくことを望みますが、いかがでしょうか。

A 県では、独自の取組として、家庭のニーズに合った制度を設け、育児休業を取得しやすい環境を整えることにより、男性の育児参画を促してきました。育児は男女がともに担うべきものであり、県には民間事業者の取組をリードする役割があることも踏まえ、今後も、男性職員の育児参画に積極的に取り組んでまいります。

※側わん症…背骨(脊柱)が何らかの原因で左右に曲がってしまう病気です。特に12歳前後の女子が多く発症するといわれています。



◎県内におけるボート競技振興と環境整備について

自由民主党 泉沢 信哉

Q ボート競技は、世界を目指せる競技の一つであると認識していますが、ぐんま国体に向けて、選手の育成や競技振興、環境整備について伺います。

A 県では、選手の育成・強化として、ボート協会等への活動費に対する補助や高校の部活動で使用するボートの保管庫の整備などを行っているほか、大規模大会の会場となる「城沼」の整備も行っていました。今後とも、競技の普及、振興につながるよう、地元館林市や関係団体、関係部局とも連携しながら、選手の育成、環境整備に努めてまいります。



ボート競技の様子



◎令和元年台風第19号の災害復旧工事について

新時代 矢野 英司

Q 公共土木施設の災害復旧状況、国代行事業の国道144号鳴岩橋の進捗状況や富岡地区における災害復旧状況について伺います。

A 道路・河川等については、今年度中に被災箇所の約6割を完成させ、残る工事も令和3年度中の完成を予定しています。国道144号鳴岩橋については、仮橋による迂回路が完成し、現在、新橋の工事に必要な工事用道路等を整備しています。富岡地区における災害復旧状況については、地滑り災害が発生した内匠地

区では令和3年6月中、浸水被害が生じた田篠・酢之瀬・内匠の3地区では令和4年度中の完成を予定しています。

3月2日(火)



◎河川監視カメラの設置状況と新たな取組について

自由民主党 相沢 崇文

Q 昨年度から集中的に整備を進めていますが、現在の設置状況と新たな取組について伺います。

A 住民の主体的な避難を促すツールとして、河川監視カメラは極めて有効であると考えています。これまでに42河川・93カ所の静止画像をインターネットで公開しています。新たな取組として、危険が迫っている状況を県民に伝えるために、ライブ動画配信のカメラをまず16カ所設置し、今年の夏から試行的に動画配信を開始します。



◎県防災ヘリコプター墜落事故の慰霊碑建立について

如水会 入内島 道隆

Q 県防災ヘリコプター墜落事故の慰霊碑は、遺族の気持ちに寄り添った形で建立することが重要です。事故現場に近い渋峠の慰霊碑建立は、消防学校での建立と同時に進めるべきと考えますがいかがでしょうか。

A 「事故現場に近い渋峠にも慰霊碑を建立してほしい」という遺族の要望に応えるため、国立公園内にある建立予定地の調査や測量等を行い、国と建立に向けて協議を行ってきました。事故発生から3年となる令和3年8月10日までに、消防学校と渋峠の慰霊碑を建立できるよう進めてまいります。



◎温泉文化に対する知事の思いについて

自由民主党 星野 寛

Q 本県が誇る温泉文化に対する知事の思いを伺います。

A 本県は、草津・伊香保・水上・四万をはじめ、100近くの温泉地に恵まれた全国屈指の「温泉大国」です。温泉には、歴史ある旅館や湯治文化など、古き良き日本の文化が息づき、近年ではワーケーションの場としても注目されています。温泉が持つさまざまな価値を、本県がリードして全国の温泉地で共有し、ユネスコ無形文化遺産登録を目指して世界に向けて発信していくことは、大変素晴らしいことだと考えています。



法師温泉



◎医師確保対策の実績と令和3年度の取組について

自由民主党 中島 篤

Q 今年度の医師確保の実績と、令和3年度の取組について伺います。

A 今年度は、臨床研修病院紹介動画の作成や医学生への病院見学に対する交通費助成、病院説明会等のオンライン化に取り組みました。こうしたこともあり、臨床研修医の来年度採用を決めるマッチング結果では、過去最多の108人を確保し、二次募集でも17人を追加できました。来年度は、オンラインの活用を一層推進するとともに、新たに、労働時間短縮に取り組む医療機関へ補助をし、働きやすい勤務環境を整備することで、医師確保につなげてまいります。

◆令和2年第3回定例会閉会後に開催された臨時会についてお知らせします。

令和2年第2回臨時会のあらまし

◇令和2年第2回臨時会は、令和2年12月21日に開催されました。

【議案】

知事から、飲食店等への営業時間短縮要請協力金の増額などの新型コロナウイルス感染症対策として**43億8,040万円**を増額する補正予算案が提出されました。

【常任委員会】

関係する常任委員会が開催され、付託議案について審査を行いました。

【議決】

常任委員会の審査結果について、委員長から報告された後、議案の採決が行われ、知事から提出された**1議案**は、**可決**されました。

令和3年第1回臨時会のあらまし

◇令和3年第1回臨時会は、令和3年2月5日に開催されました。

【議案】

知事から、ワクチン接種の円滑な実施に向けた体制整備や営業時間短縮要請の延長、営業時間短縮の影響を受けた関連事業者への支援金などの新型コロナウイルス感染症対策として**107億2,169万円**を増額する補正予算案など**2議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、提出された補正予算案に関する附帯決議案**1件**が発議されました。

【常任委員会】

関係する常任委員会が開催され、付託議案について審査を行いました。

【議決】

常任委員会の審査結果について、委員長から報告された後、議案の採決が行われ、知事から提出された**2議案**は、**可決・承認**されました。また、委員会から発議された**決議案1件**は、**可決**されました。

◇可決された決議

○**第1号議案「令和2年度群馬県一般会計補正予算（第13号）」に係る附帯決議**

特別委員会の活動について紹介します。

◎3つの特別委員会から提言を提出しました。

○行財政改革特別委員会からの提言

「群馬県の行財政改革に関する提言」として、県有施設のあり方見直し最終報告案について、指定管理者や委託先への影響を十分考慮し、慎重に検討を進めること、今回対象となった施設以外の見直しにも継続的に取り組むこと、行政のデジタル化に伴うセキュリティ等の対策、コロナ禍による財源不足に備えた事務事業の見直し、条例等の規程の抜本的な見直しに関する取組など12項目にわたり提言しました。

○危機管理対策特別委員会からの提言

「危機管理対策に資する諸施策の推進に関する提言」として、PCR検査の抜本的な拡充や必要な財政措置を政府に要望すること、学校における感染リスクの抑制、保健所等の負担軽減、介護サービス施設への感染症対策支援など新型コロナウイルス感染症対策に関する取組、コロナ禍における避難所対策、浸水想定区域内の避難所の在り方の検討、市町村等との連携強化、避難所におけるLPガスバルクシステムの導入検討など10項目にわたり提言しました。

○外国人との共生・共創に関する特別委員会からの提言

「外国人との共生・共創に関する提言」として、日本社会のルールを守る意識付けを行う機会を設けるなど生活関係の取組、夜間中学校設置に向けた取組の強化や外国人児童・生徒への日本語指導の支援など教育関係の取組、外国人技能実習生の状況把握など労働関係の取組、多文化共生・共創推進基本計画についてなど14項目にわたり提言しました。

◎総合計画に関する特別委員会の活動状況



太陽誘電株式会社にて

新・総合計画（基本計画）に関する審議を行ったほか、令和3年3月10日には、新・総合計画（ビジョン）で描かれたデジタル化への対応やSDGsの取組に関して、太陽誘電株式会社による今後のデジタル社会への対応やSDGsの取組について調査を実施しました。



各提言の詳細はこちら

議員に密着ゼミナール ～もっと知りたい政治のハナシ～

若者の政治への関心を 高める取組

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

令和2年12月17日に、若者の政治への関心を高めるための新たな取組として、高崎経済大学の協力をいただき、「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの実施となりましたが、高崎経済大学地域政策学部「現代政治論」の履修者125人が参加し、「群馬県の地域課題について」をテーマに、学生と3人の議員がオンラインで意見交換を行いました。



意見交換をする議員の様子

参加学生の感想

- ・ 広報などでは得られない議員の考え方や人となりを知ることができる貴重な機会でした。学生の質問にも真摯な姿勢で答えていただき、意見交換に参加したことで議員に対する印象はとて変わりました。
- ・ それぞれの議員の地域課題に対する取組が分かり、深く掘り下げたところまで話を聞くことができました。今回の意見交換を通して、群馬県の地域課題について興味を持ち、もっと学びたいと思うようになりました。

令和3年第1回定例会中の2月25日と3月1日に、県内の大学生が議員と意見交換を行う「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を開催しました。今年度2回目となるアカデミーには、県内4大学から19人の学生と県議会議員8人が参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議員の一般質問をテレビやインターネットで視聴した後、オンラインによる開催となりましたが、参加学生からは、オンラインでも十分な意見交換ができたとの感想をいただきました。

【参加大学（順不同）】

県立女子大学 共愛学園前橋国際大学 群馬医療福祉大学 東京福祉大学



意見交換をする議員の様子



オンラインでの意見交換の様子

トピックス

◎県議会のICT化を進めています。



模擬審議の様子

2月10日に議会基本条例推進委員会の委員が、タブレット端末を使用して模擬審議を行いました。

県議会では、令和2年6月にオンラインを活用した会議の開催を可能とする条例改正を行いました。その後も、議会基本条例推進委員会による検討を続け、配布資料のペーパーレス化やオンラインを活用した委員会の実施に向けたICT化の取組を進めています。

◎群馬県議会冬季新型コロナウイルス対策本部会議を開催しました。



あいさつを行う萩原議長

2月5日に「群馬県議会冬季新型コロナウイルス対策本部会議」を開催し、県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況や対策の現状について、質疑を行いました。

引き続き、感染防止と経済活動の両立を図り、バランスの取れたあるべき施策の展開に向け、全力で取り組んでまいります。

議員異動のお知らせ

R3.3.19現在

多田 善洋 議員 自由民主党 → 辞職 (令和3年2月17日付)

◎県議会だよりはスマートフォン等でご覧になれます。



◎過去の県議会だよりはこちらからご覧ください。



県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

◎「県議会だより」は年4回発行しています。

次号は、令和3年7月4日(日)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。

☎027-897-2891 FAX027-243-4211 ✉giseisaku@pref.gunma.lg.jp

令和3年第2回定例会のご案内

会期は5月24日から6月15日の予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴はご遠慮いただき、テレビやインターネットによる中継をご覧ください。



◎本会議・委員会開催日程

月 日	曜日	議事予定	月 日	曜日	議事予定
5月24日	月	本会議 (開会・提案説明)	6月7日	月	常任委員会
28日	金	本会議 (質疑及び一般質問)	8日	火	特別委員会
31日	月		10日	木	
6月2日	水		15日	火	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

(開会はおおむね午前10時からです。)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。

◎県議会中継

テレビ

★群馬テレビ 午前10時～ <生中継>
本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

スマートフォンや
タブレットはこちらから。

インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」 <生中継><録画>
本会議の全日程をご覧ください。



編集後記

図書広報委員会が発行する「群馬県議会だより」は、県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、分かりやすい紙面作りに努めています。

また、図書広報委員会では、フェイスブックやツイッターにより、議会活動の案内や議員による常任・特別委員会の審議内容のレポート、議員がおすすめする図書の紹介などを発信しております。

今後も、より一層「開かれた議会」を目指し、県議会を積極的に広報してまいりますので、よろしくお願いいたします。

【図書広報委員長 岩井 均】



◎図書広報委員会

委員長：岩井均、副委員長：松本基志
委員：あべともよ、酒井宏明、薬丸潔、本郷高明、斉藤優、森昌彦、高井俊一郎、牛木義

県議会ホームページ

群馬県議会

検索

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。

